

「健康尿モニタ」

HUM (Health Urine Monitor)

男女共に計測可能

① 尿温度を測定します。

- ・深部体温を推定
(朝起きたときの尿温度は基礎体温に近い)
- ・熱中症予防
- ・感染症の早期発見
- ・性周期管理

- ① 尿温度
- ② 塩分量
- ③ 尿量



② 尿中の塩分排出量を測定します。

予防と治療

- | | |
|-------|--------|
| ・高血圧 | ・腎臓病 |
| ・夜間頻尿 | ・胃がん |
| ・心疾患 | ・脳血管障害 |

③ 排尿量を測定します。

- ・切迫性
- ・尿もれ (スイッチ入力)
- ・排尿モード
- ・排尿時間
- ・平均排尿速度

- ・腎臓、膀胱の状態管理
- ・排尿障害の早期発見
- ・水分摂取量管理
- ・夜間多尿

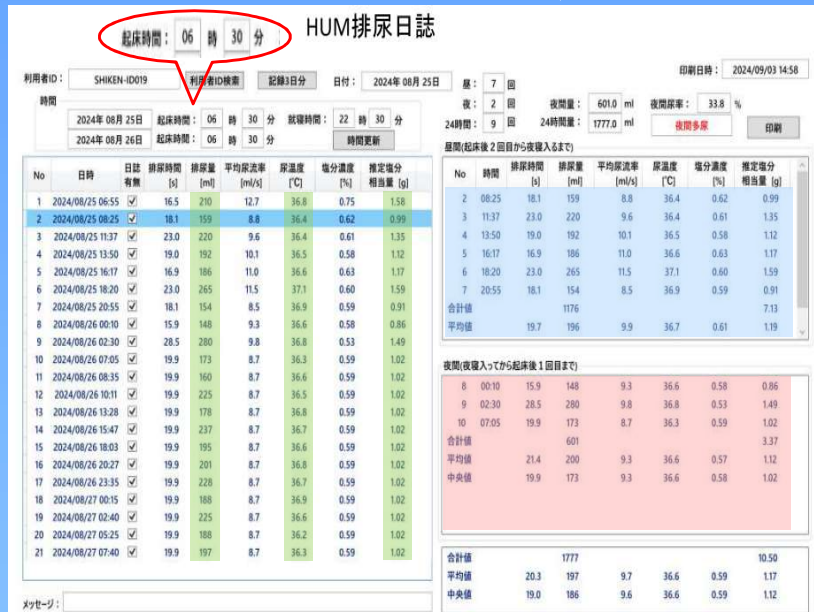


(※ 形状等は予告なく変更する場合があります。)

④ 遠隔化 (スマホ及びPCへの転送)

 株式会社ゼオシステム

あなたの健康を管理します。 (PCソフト)



推薦者



朽久保 修

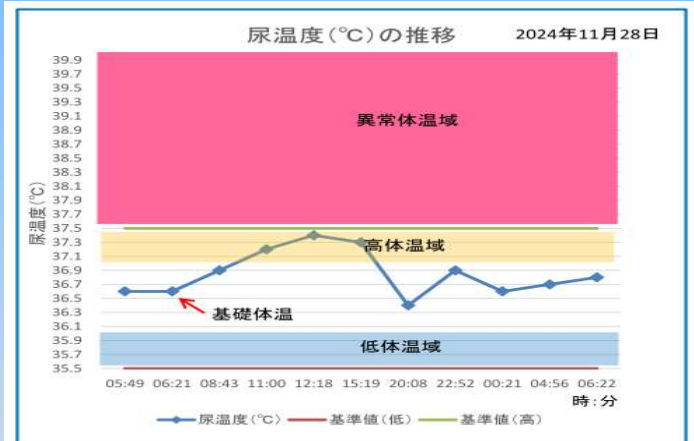
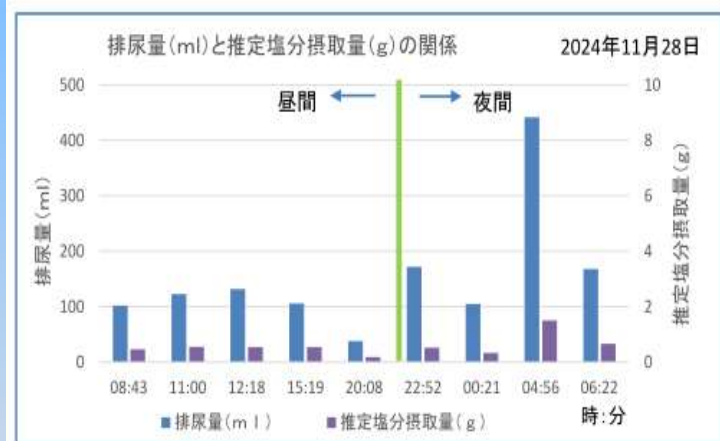
NPO法人

市民健康長寿ネット研究所理事長

(横浜市大医学部名誉教授)

<https://citizen-health.or.jp>

尿の分析は、非侵襲的に「健康状態をモニター」するのに有効です。
特に尿塩分排泄量は、「食塩摂取量推定」の最も信頼できる方法です。高血圧や腎臓病などの管理予防に役立ちます。また、人口の高齢化に伴ない、「夜間頻尿や多尿」など泌尿器疾患も増加していますので、尿排泄状態の計量化にも必要になっています。さらに夜間尿排泄時の尿温度は「基礎体温」を反映し、性周期の評価や感染症による発熱の早期発見、加えて最近の地球温暖化による熱中症増加に対しても基礎体温上昇、乏尿を検知し、その早期発見に役立ちます。HUMはこれらの「見える化」のために開発されたもので、これからの健康長寿のための手段として活用されることを願っています。



排尿の目安	
1回の排尿量	100~400(ml)
1回あたりの排尿時間	20~30秒
1日の排尿量	700~2000(ml)
1日の排尿回数	4~10回
夜間排尿量	1日の尿量の1/3以下
1日あたりの塩分摂取量	
高血圧学会推奨値	6.0g未満
慢性腎臓病ガイドライン	6.0g未満
標準的な体温	
基準値(高)	37.5(°C)
基準値(低)	35.5(°C)

使用方法

- ① F2(POWER)ボタンを押す。
- ② カップに排尿すると小孔から流れ出る。
- ③ 排尿を終えたら、F2(POWER)ボタンを押す。
- ④ カップから尿が全て排出されると、測定したデータが表示される。

消毒・洗浄

- ① 使用後、水道水をカップに流し入れ、水洗いする。
- ② 次亜塩素酸ナトリウム液を0.1%に薄めた消毒液を用意する。
- ③ 消毒液をカップの内側、外側の両方にかけ、その後、水で洗い流す。
- ④ 本体を、消毒液をしみこませたクロスで拭く。

注. ②~④は1日1回行う



仕様	
商品名	健康尿モニタ (HUM)
型式	GM-10
構成	本体・カップ・取扱説明書
測定対象	毎回の排尿
測定項目(尿量)	カップから排出する時間
測定範囲(尿量)	50~500ml
測定項目(塩分)	導電率法
測定範囲(塩分)	0.1~2.0%
温度範囲	34~41°C
電池	単4型アルカリ電池×3
データ通信	HUM-アンドロイド及びPCにBLE通信

【お問い合わせ先】 株式会社ゼオシステム

〒221-0823
神奈川県横浜市神奈川区ニッ谷町10-10 坂本ビル5階
TEL 045-320-3009 FAX 045-320-4991
<http://www.geo-system.co.jp>
[mail engineering@geo-system.co.jp](mailto:engineering@geo-system.co.jp)

